

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月11日

【四半期会計期間】 第47期第1四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 第一カッター興業株式会社

【英訳名】 DAI-ICHI CUTTER KOGYO K.K.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 広瀬俊一

【本店の所在の場所】 神奈川県茅ヶ崎市萩園833番地

【電話番号】 0467-85-3939

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画室長 小池保

【最寄りの連絡場所】 神奈川県茅ヶ崎市萩園833番地

【電話番号】 0467-85-3939

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画室長 小池保

【縦覧に供する場所】 第一カッター興業株式会社 東京支店  
(東京都中央区日本橋一丁目14番7号明治安田生命江戸橋ビル4F)  
第一カッター興業株式会社 千葉営業所  
(千葉県千葉市稲毛区山王町360番地24)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第46期 第1四半期 連結累計期間	第47期 第1四半期 連結累計期間	第46期
	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成25年6月30日
売上高 (千円)	2,033,610	2,214,543	8,573,802
経常利益又は経常損失( ) (千円)	31,764	124,122	586,804
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( ) (千円)	52,735	79,906	341,940
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	52,603	80,645	352,246
純資産額 (千円)	4,418,584	4,849,878	4,797,932
総資産額 (千円)	5,836,646	6,312,348	6,145,709
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は1株当たり四半 期純損失金額( ) (円)	18.53	28.08	120.15
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	74.5	76.0	77.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第46期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第46期及び第47期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策及び日銀の金融緩和への期待感から株価の上昇・円高の是正等を背景として、企業収益の改善や個人消費に明るさが戻りつつあるものの、欧州債務危機問題の長期化や新興国における経済成長の減退をはじめとする世界経済の下振れリスク等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

建設業界においても、公共投資が堅調に推移したことに加え、2020年東京五輪開催決定により今後の需要増加が見込まれるものの、依然として業界全体における熾烈な価格競争・受注競争が継続しており、引き続き厳しい経営環境にあります。

このような状況下で、当社グループ全体の売上高は2,214百万円(前年同四半期比8.9%増)となり、営業利益は109百万円(前年同四半期は営業損失46百万円)、経常利益は124百万円(前年同四半期は経常損失31百万円)、四半期純利益は79百万円(前年同四半期は四半期純損失52百万円)となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、売上高は第1四半期(7月～9月)・第4四半期(4月～6月)に減少し、第2四半期(10月～12月)・第3四半期(1月～3月)に増加いたします。今後、このような業績の変動を平準化していく方針ではありますが、当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われまます。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### (切断・穿孔工事業)

切断・穿孔工事業につきましては、耐震補強関連工事、高速道路補修関連工事、発電所改修関連工事、橋脚補修関連工事及び電鉄補修関連工事等の強化・市場拡大に努めました。その結果、切断・穿孔工事業の完成工事高は2,168百万円(前年同四半期比8.3%増)となりました。

#### (ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に高層マンション等の新規顧客の開拓、またサービスの強化に努めてまいりました。その結果、完成工事高は38百万円(前年同四半期比48.0%増)となりました。

#### (その他)

リユース事業につきましては、前期に引き続き新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、売上高は7百万円(前年同四半期比26.2%増)となりました。



(2) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、建物及び構築物が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ166百万円増加し、6,312百万円となりました。

負債につきましては、工事未払金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ114百万円増加し、1,462百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、4,849百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は76.0%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,000,000
計	10,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,000,000	3,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株式 単元株式数 100株
計	3,000,000	3,000,000		

(2) 【新株予約権等の状況】  
 該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】  
 該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】  
 該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		3,000,000		470,300		465,100

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 130,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,869,600	28,696	-
単元未満株式	普通株式 400	-	-
発行済株式総数	3,000,000	-	-
総株主の議決権	-	28,696	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 第一カッター興業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市萩園 8 3 3 番地	130,000	-	130,000	4.33
計	-	130,000	-	130,000	4.33



## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、アーク監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,738,163	1,811,163
受取手形・完成工事未収入金	<sup>1, 2</sup> 1,597,845	<sup>1</sup> 1,640,924
未成工事支出金	138,873	89,340
材料貯蔵品	52,359	54,339
繰延税金資産	35,507	35,507
その他	83,163	63,653
貸倒引当金	5,185	5,560
流動資産合計	3,640,726	3,689,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	491,261	610,095
減価償却累計額	202,111	208,491
建物及び構築物(純額)	289,150	401,604
機械装置及び運搬具	1,940,003	2,011,928
減価償却累計額	1,591,737	1,622,630
機械装置及び運搬具(純額)	348,265	389,298
工具、器具及び備品	80,968	83,806
減価償却累計額	61,253	62,891
工具、器具及び備品(純額)	19,715	20,915
土地	1,318,012	1,318,012
建設仮勘定	53,803	630
有形固定資産合計	2,028,946	2,130,460
無形固定資産	19,128	18,464
投資その他の資産		
投資有価証券	134,585	140,413
繰延税金資産	159,466	159,466
その他	179,490	194,288
貸倒引当金	16,633	20,114
投資その他の資産合計	456,908	474,053
固定資産合計	2,504,983	2,622,978
資産合計	6,145,709	6,312,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	339,916	437,987
1年内返済予定の長期借入金	14,316	14,316
未払法人税等	83,082	45,883
賞与引当金	28,040	118,160
その他	399,257	372,095
流動負債合計	864,612	988,443
固定負債		
長期借入金	72,047	68,468
退職給付引当金	339,089	334,681
役員退職慰労引当金	67,397	66,229
資産除去債務	4,629	4,647
固定負債合計	483,164	474,026
負債合計	1,347,776	1,462,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	465,100	465,100
利益剰余金	3,930,325	3,981,531
自己株式	122,026	122,026
株主資本合計	4,743,698	4,794,905
少数株主持分	54,233	54,973
純資産合計	4,797,932	4,849,878
負債純資産合計	6,145,709	6,312,348

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	2,027,315	2,206,595
商品売上高	6,295	7,947
売上高合計	2,033,610	2,214,543
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	1,623,946	1,610,457
商品売上原価	1,438	6,215
売上原価合計	1,625,385	1,616,673
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	403,369	596,137
商品売上総利益	4,856	1,731
売上総利益合計	408,225	597,869
<b>販売費及び一般管理費</b>	454,862	488,041
営業利益又は営業損失( )	46,637	109,828
<b>営業外収益</b>		
受取利息	28	77
受取保険金	2,705	11
受取家賃	4,650	4,598
負ののれん償却額	228	-
持分法による投資利益	7,237	7,028
雑収入	5,447	5,684
営業外収益合計	20,297	17,399
<b>営業外費用</b>		
支払利息	364	122
売上債権売却損	58	9
不動産賃貸原価	2,468	2,779
雑損失	2,533	194
営業外費用合計	5,424	3,105
経常利益又は経常損失( )	31,764	124,122
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	14	130
特別利益合計	14	130
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	61	84
固定資産除却損	344	152
減損損失	<sup>1</sup> 18,802	-
特別損失合計	19,209	237
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	50,959	124,015
法人税等	1,643	43,369
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	52,603	80,645

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主利益	131	739
四半期純利益又は四半期純損失( )	52,735	79,906

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	52,603	80,645
四半期包括利益	52,603	80,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,735	79,906
少数株主に係る四半期包括利益	131	739

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	4,300千円	
受取手形裏書譲渡高	247,069千円	269,950千円

2 期末日満期手形

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	7,836千円	
裏書手形	17,714千円	



(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節変動

前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)及び

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

当社グループの売上高は、公共事業関連工事が多いため、第1四半期(7~9月)、第4四半期(4~6月)が減少し、第2四半期(10~12月)、第3四半期(1~3月)に増加する傾向にあります。

- 1 前第1四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

用途及び地域	種類	減損額
下地処理工事部 (神奈川県茅ヶ崎市)	機械及び装置	18,802千円

当社グループは、管理会計上の区分(主として営業所)を基準に資産のグルーピングを行っております。営業活動から生じる損益が継続してマイナスで、資産グループの固定資産簿価を全額回収できる可能性が低いと判断した事業部について、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(18,802千円)として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるものは回収可能価額を零として評価しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
減価償却費	48,031千円	47,330千円
のれんの償却額	104千円	104千円
負ののれんの償却額	228千円	

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月27日 定時株主総会	普通株式	28,700	10	平成24年6月30日	平成24年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月27日 定時株主総会	普通株式	28,699	10	平成25年6月30日	平成25年9月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナ ンス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,001,492	25,823	2,027,315	6,295	2,033,610
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,001,492	25,823	2,027,315	6,295	2,033,610
セグメント利益又は損失( )	137,304	1,660	135,644	1,177	134,467

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、前連結会計年度より事業を開始いたしましたリユース事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	135,644
「その他」の区分の損失	1,177
のれん償却額	104
全社費用(注)	181,000
四半期連結損益計算書の営業損失( )	46,637

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「切断・穿孔工事業」セグメントにおいて、18,802千円の固定資産減損損失を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナンス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,168,384	38,210	2,206,595	7,947	2,214,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,168,384	38,210	2,206,595	7,947	2,214,543
セグメント利益又は損失( )	275,880	1,802	274,077	3,498	270,578

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リユース事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	274,077
「その他」の区分の損失	3,498
のれん償却額	104
全社費用(注)	160,645
四半期連結損益計算書の営業利益	109,828

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額( )	18円53銭	28円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	52,735	79,906
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	52,735	79,906
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,846	2,845

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

なお、前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

第一カッター興業株式会社  
取締役会 御中

### アーク監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 藤本 幸宏 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 松島 康治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている第一カッター興業株式会社の平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、第一カッター興業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。